

めぐる水 みずっちさんの坂川 Lesson⑫ 最終回

いわゆる

坂川の源の話

クイズの答え：正解には **○** が付いています。



第1問 坂川には、ある有名な川の水が流れ込んでいます。その川の名称は？

- ①江戸川 ②利根川 ③荒川
②番の利根川ですね。では、その利根川が日本で1番なのは？
①川の長さ ②水質の良さ **③流域面積**

ヒント；月刊新松戸4月号に掲載（H26）

解説；日本で1番長い川は「信濃川 367km」です。2番目が利根川で322km、3番目は石狩川268kmと続きます。

世界に目を向けると、世界で1番長い川は、ナイル川で6,650km、2番がアマゾン川で6,400kmです。規模が全然違いますね。

流域面積ランキングは、1. 利根川、2. 石狩川、3. 信濃川となります。

第2問 利根川の水は、坂川（流山市野々下地先）に流れ込むまでは、長い地下トンネルを流れてきます。そのトンネル部分は何kmあるでしょうか？

- ①約5km ②約10km **③約20km**

ヒント；月刊新松戸5月号に掲載（H26）

解説；利根川の水は、千葉県印西市発作にある北千葉揚排水機場から取り込み、手賀川、手賀沼、大堀川に沿って埋設されている管の中を通り、坂川に流れ込みます。

第3問 トンネルを掘る方法の1つ、シールドマシン工法は、イギリスのブルネルという技師があるものを見て閃きました。それは何でしょうか？

- ①モグラ **②フナクイムシ** ③アリジゴク

ヒント；月刊新松戸6月号に掲載（H26）

解説；フナクイムシは、名前にムシとついていますが実際は貝の仲間です。

イギリスのブルネルという技師が1818年に発明し特許を取得しました。造船所で働いているときに見た、船の木材を先端の貝殻で掘り進め、後ろを分泌液で殻を作り固めているフナクイムシ（船食い虫）をヒントにしてシールドを発明しました。

第4問 坂川の流れる新松戸の辺りは約6千年前には海でした。その証拠にある生き物の化石が見つかりましたが、それは何でしょう？

- ① トド ② クジラ ③ ペンギン

ヒント；月刊新松戸7月号に掲載（H26）

解説；新松戸西パークハウス（新松戸7丁目）の建設工事中にクジラの化石骨が見つかりました。また、新松戸で行ったボーリング調査では、海に生息する種類の貝も見つかっています。

第5問 江戸時代、洪水が絶えなかった坂川を下流へ、下流へと掘つぎをしました。その坂川治水工事に深く関わった人物の名前は？

- ① 渡辺庄左衛門 ② 渡辺ドラ衛門 ③ 渡辺坂左衛門

ヒント；月刊新松戸8月号に掲載（H26）

解説；1871年に幕府へ坂川の改修を願い出た時の惣代（代表者）の1人で鱈ヶ崎村（現在、流山市）の名主でした。祖父・父・子の三代に渡り庄左衛門を名のり、坂川掘りつぎが完成するまでの56年間、坂川の治水に深く関わりました。幕府への願い出や下郷の人たちとの話し合い、工事責任者でもあったので土木技術の習得や人足の手配、資金や資材の調達などなど多岐に渡る指導者だったようです。

第6問 昭和に入ってもまだまだ坂川流域は洪水に悩まされました。昭和60年～平成9年まで、国土交通省（当時；建設省）では坂川（流山市野々下～松戸市新松戸6丁目辺り）の改修工事をしました。どのような工事だったでしょう。

- ① 坂川を深く掘った ② 坂川を広くした ③ 坂川を深く、広くした

ヒント；月刊新松戸9月号に掲載（H26）

解説；けやき橋から望んだ坂川（左写真：坂川改修前、右写真：現在）同じ場所です。坂川の流れを良くするために川幅を広くし、川底を掘りました。



第7問 平成6年に「坂川の水をきれいにして 江戸川の水を安全でおいしい水にした
い！」と始まった取り組みの名称は何でしょう？

- ①清流ルネッサンス 江戸川・坂川
- ②清流スプラッシュ 江戸川・坂川
- ③清流フィットネス 江戸川・坂川

ヒント；月刊新松戸10月号に掲載（H26）

解説；ルネッサンスとは、社会科で勉強した14～16世紀にヨーロッパで展開した学問上・芸術上の革新運動「文芸復興」として覚えている方が多いと思いますが、「再生」を意味するフランス語です。

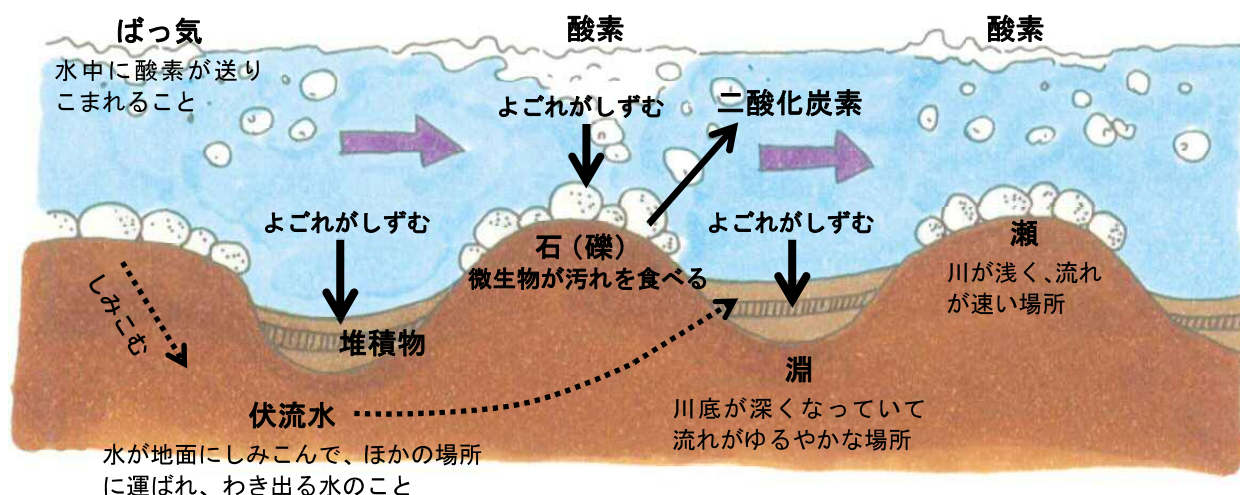
「清流ルネッサンス」は、坂川に清流を取り戻すというひとつの目標に向かい、地域の住民の方、松戸市・流山市・柏市、千葉県、国（国土交通省江戸川河川事務所）が一体となって取り組んでいく仕組みです。

第8問 坂川の水をきれいにするために江戸川の河川敷に古ヶ崎浄化施設を設置しました。浄化槽は、大きなコンクリートの箱のようですが、中に何が敷き詰められている
でしょう？

- ①活性炭
- ②砂
- ③石

ヒント；月刊新松戸11月号に掲載（H26）

解説；もともと河川には、汚れをきれいにする力を持っています（川の自浄作用）。川に入ってきた汚れ（有機物）は、川の水で希釈され、川底に沈殿したり、石などに吸着されます。また、石の表面にいる微生物が汚れをエサとして食べ、水と二酸化炭素に分解してくれます。



「古ヶ崎浄化施設」は、川の自浄作用を活用した「ばっ気付き礫間接触酸化法」という方法で浄化しています。大きなコンクリートの箱の中に石ころ（礫）を敷き詰めています。そこに坂川の水を送り、汚れが石にぶつかり沈殿し、また、石の表面にいる微生物が汚れを食べたりして水をきれいにしています。なぜ「ばっ気付き」かという、その大切な微生物が死滅しないよう酸素を送るためです。

第9問 江戸川の水を安全でおいしい水にするために、江戸川の河川敷に作られた川の名前は？

- ①みんなの松戸川 ②なかよし松戸川 ③ふれあい松戸川

ヒント；月刊新松戸12月号に掲載（H26）

解説；安全でおいしい水道水の供給をめざして、坂川の汚れた水を江戸川と分離し、東京都民、千葉県民の水道用水の取水箇所である、金町、古ヶ崎（老朽化により平成19年に閉鎖）、栗山、ちば野菊の里（平成19年度より）の各浄水場の下流へバイパスするため、江戸川の河川敷に新たに水路を作りました。（平成10年7月11日完成）

この水路を多くの人々に親しみやすい施設とするため、愛称を広く一般の方々から募集しました。応募いただいた414件の愛称を元に、流水保全水路愛称選定委員会により検討を行った結果、流水保全水路が、川とのふれあい、人とのふれあい、自然とのふれあいの場となるよう願いを込めて「ふれあい」という言葉と、地域に根ざした水路になるように流水保全水路の地先である「松戸」の地名を合わせ、「ふれあい松戸川」に決定しました。

第10問 川をきれいにするためにみんなで出来ることは何でしょう？

- ①川にゴミを捨てない ②川の学習をする
③洗剤やシャンプーを使いすぎない

全て正解です！

ヒント；月刊新松戸1月号に掲載（H27）

解説；川を汚さない1番簡単な方法は、「川にゴミを捨てない」ことです。

川をきれいにするための「川にやさしい排水マナー」も参考にしてください。

家から出るよごれをみんなでへらしていこう！
～みんながやる、みんなのできる「川にやさしい排水マナー」～

<p>①食事をつくるとき、食事のとき</p> <p>・水切り袋を三角コーナーや排水口につける</p>	<p>台所から流すゴミをへらす工夫をしよう</p> <p>・食べられる量だけつくる</p> <p>・飲み物の飲み残しをしない</p>	
<p>②食事のかたづけのとき</p> <p>・食器やフライパンなどのよごれはいらぬ紙や布でふき取ってからあらう</p>	<p>よごれを少しでもとりのぞいてから、水を流そう</p> <p>・洗剤の量をへらす</p> <p>・アクリルタワシがおすすめ</p> <p>・たくさん残った油は固めてする</p>	
<p>③洗濯・お風呂のとき</p> <p>・石けんやシャンプーを使いすぎない</p>	<p>よごれた水をふやさぬ工夫をしよう</p> <p>・風呂の残り湯を洗濯に使う</p> <p>・洗濯の洗剤は必要な量だけはかって使う</p>	

また、川がどれだけ大事か、どうすれば川をきれいに出来るのかを学習することによって川をきれいにしよう！という意識の方が増えます。川の学習をすることはとても大切です。

おまけ 坂川がきれいになって、坂川に戻ってきた魚は何でしょう？

- ①コイ ②ブルーギル ③アユ

ヒント；月刊新松戸2月号に掲載（H27）

解説；坂川がきれいになってアユが戻ってきました。

コイは、汚れていた時期も坂川にいましたので戻ってきた魚ではありませんね。

坂川でみられる生き物



坂川まもり隊 まもる君

何問正解しましたか？
9～11問正解者は 坂川博士ですね



清流ルネッサンス
江戸川・坂川
のキャラクター